

オリンピッククイヤーの今夏。連日熱戦が繰り広げられ、熱い声援が送られました。そこで、耳にしたのが、「最後は気持ち」「メンタルの強さ」という選手の言葉です。もちろん磨き上げられた高い技術を背景に語られたものですが、物事に対する「意欲」を育てることは、重要な課題だと考えられます。

国際的な学力調査でも、日本の子供の学習意欲の低さが、課題として指摘されています。また、ひきこもりやニートといった自立をめぐる社会的な課題もあります。

これらの根っこにあるのが、子供の心の発達の問題です。子供は、友達や家族、あるいは周りの大人とかかわる中で、自分は何者であるのか、どう生きていきたいのか、といった自立への基盤を確立し、心や社会性の発達が促されます。ところが、少子化、核家族化等の社会の変化により、人ととかかわる機会が極端に減り、実体験が乏しくなっているのです。

そんな中で、学校は大勢の友達とかかわる貴重な場となりました。今、深刻な問題となっているいじめや不登校等の問題も、実はこの子供たちの人とかかわる力や社会性の低下が関係しているといわれています。そこで、学校では、友達とかかわる体験を多く取り入れ、子供たちの心や社

会性の発達を支える工夫がされています。

家庭でも、「子供のやる気がない」「自分から進んで勉強しようとしないう」と、子供のやる気をどのように育てるかは、最大の関心事です。

子供の発達に関する調査によると、学習意欲や友達と進んでかかわろうとする意欲は、以下の項目と関係していることが明らかにされています。それは、「朝自分で起きる」、「毎朝朝食を食べる」、「家で挨拶をする」、など基本的な生活習慣を「自分自身で、自発的に」行っていること、そして、「自分が家族にとつてかけがえのない存在である」と感じ「家を楽しんでいる」と感じていることでした。また、親が地域の人とかかわることで子供が「地域の人の挨拶をする」、「地域の行事に参加している」ことも良い影響を与えていました。

つまり、子供の意欲を育てるには、家庭の愛情や基本的な生活習慣の downstairs 支えが必要であるということです。そして、地域の人とかかわりも、子供の心や社会性の発達には欠かせないのです。

地域のつながりが大切にされている都留市です。家庭や学校、そして地域が連携して、子供の心の成長を支え、よりよく生きるための意欲を育てていきたいものです。

連載・青少年健全育成シリーズ 第254回

「子ども の意欲を育てるには」



毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄